

【セッションNo. 4】

# 運用環境構築で役立つ！ トラブルシューティングのポイント

株式会社ミガロ。  
RAD事業部 技術支援課  
吉原 泰介



## ■ はじめに

- この数年間、Windows10への環境移行は多くの企業様で取り組まれており、PCの入れ替えやアプリケーションのバージョンアップが増えています。



それに伴って、Delphi/400運用環境の構築に関するサポートのお問合せも多くなってきました。本セッションでは、実際の運用環境構築時に役立つトラブルシューティングのポイントを工程別に詳しくご説明いたします。

# 【アジェンダ】

1. インストール時のトラブルシューティング
2. 接続テスト時のトラブルシューティング
3. アプリケーション起動時のトラブルシューティング
4. まとめ



# 1. インストール時のトラブルシューティング



# 1.インストール時のトラブルシューティング



## 【ケース1】

インストーラのSetup.exeが起動しない（反応しない）

## 【対処方法】



Setup.exeが起動しない理由は大きく2つあります。

- ①バージョンが古く、16bit互換のインストーラの為にハード（P C）上で動作しない。
- ②ウィルス対策ソフトや監視ソフト等、あるいは権限によって起動が妨げられている。

→ 詳細は次ページ



# 1.インストール時のトラブルシューティング

- **Delphi/400 V2005以前の場合**

CPUがSkylake（第6世代インテル® Core™ プロセッサ）以降でWindows7、Windows10を使用している場合、PCメーカーによって「16bit互換のインストーラが起動しない」不具合報告があります。メーカーによってBIOSなどの修正が提供されて解決している為、PCメーカーへご確認ください。

（メーカーのパッチで解決した報告は多数あります。）

- **Delphi/400 V2006以降、または上記に該当しない場合**

インストーラが何かに阻害されている可能性があるので、下記の手順でインストールをお試してください。

- ① UACを無効にしてWindowsを再起動する。
- ② ウィルス対策ソフトや監視ソフト、FireWallなどを全て停止してネットワークに接続しない環境にする。
- ③ インストーラ実行時に右クリックから「管理者モード」で実行する。



# 1.インストール時のトラブルシューティング



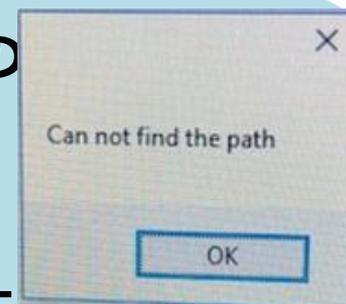
## 【ケース2】

インストール中に「Can not find the path」エラーになる

## 【対処方法】



BDEがインストールされていない環境でBDE機能のインストールが行われた際に発生するエラーです。



- ①アプリケーションがBDEを使用している場合  
→ 運用版の前にBDEのインストールが必要です。
- ②アプリケーションがBDEを使用していない場合  
→ インストール時にIDAPIのチェックを外してください。  
(詳しくはインストールマニュアルをご参照ください)



# 1.インストール時のトラブルシューティング



## 【ケース3】

インストール中に「pb reading rootdir」エラーになる

## 【対処方法】



開発版（Development）をインストール時に対象バージョンのDelphi開発環境が存在しないと発生するエラーです。  
運用環境構築の場合は運用版（Deployment）のSetup.exeでインストールしてください。



# 1.インストール時のトラブルシューティング



## 【ケース4】

**インストールでC04XXライブラリが作成されない**  
(C04XXのXXはバージョンによって異なります。)

## 【対処方法】



インストール時に「完全」を選択してインストールください。  
「完全」でインストールしてもライブラリが作成されない場合、  
FTPでの権限やオブジェクト復元オプション (QALWOBJRST)  
などによってIBM i 上でライブラリが展開できていない  
可能性がありますので、サポートへご連絡ください。

→ 対象バージョンのC04XXライブラリをSAVFでご用意します。



## 2.接続テスト時のトラブルシューティング



## 2.接続テスト時のトラブルシューティング



### 【ケース5】

インストール後にConfigurationで接続できない

### 【対処方法】



Configurationの接続テストで接続できない場合、エラーメッセージによって原因と対処が異なります。

エラーメッセージ①

「PROTECTION ERROR」

エラーメッセージ②

「APPC PARTNER LU NAME INVALID OR NOT FOUND」

→ 詳細は次ページ以降





## 2. 接続テスト時のトラブルシューティング

### ・ 「APPC PARTNER LU NAME INVALID OR NOT FOUND」 が発生する場合

接続先が見つからないエラーなので、下記点をチェックしてください。

- ① Configurationのライブラリやポートが正しく設定されていること
- ② IBM iで対象のCO4XXサブシステムが起動していること  
起動していない場合はコマンド STRSBS CO4XX/CO4XXTCPで起動

- ③ PCからIBM iにPINGが通ること

```
C:¥Users¥yoshiwara>ping 192.168.0.21
192.168.0.21 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.21 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

- ④ Configurationで指定しているAS/400 NameでPINGが通ること

TCP/IP Configuration		DLL Information	
AS/400 NAME	AS/400 ADDRESS		
POWER9	192.168.0.21		

```
C:¥Users¥yoshiwara>ping POWER9
POWER9 [192.168.0.21]に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.21 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

### 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング



### 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング



#### 【ケース6】

**Configurationが接続できるのにアプリが接続できない**

#### 【対処方法】



接続先名やログインユーザー情報など、プログラムで制御している場合は、固定の接続情報でお試してください。

(iniファイルなどを経由した想定値は使用しないでご確認下さい)

正しい設定でもエラーになる場合は、使用しているデータベースエンジンによってエラー原因を確認下さい。

→ 詳細は次ページ以降



# 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング

## • BDEで発生することがある接続エラー

「初期化中にエラーが発生しました」

【対処方法 1】

BDEはWindows Vista以降のWindows OSに対応しておらず、動作が不安定であれば、再セットアップをする。



下記手順で環境を再セットアップしてお試してください。

- ① Delphi/400をアンインストールする。
- ② BDEおよびアプリをアンインストールする。
- ③ 以下のUAC仮想ディレクトリにファイルがあれば削除する。

C:¥Users¥ユーザー名¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Windows¥win.ini

C:¥Users¥ユーザー名¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files

¥Common Files¥Borland Shared¥BDE

- ④ UACを無効に設定してPC再起動する。
- ⑤ BDEおよびアプリを「管理者として実行」でインストールする。
- ⑥ Delphi/400を「管理者として実行」でインストールする。

常に通知する



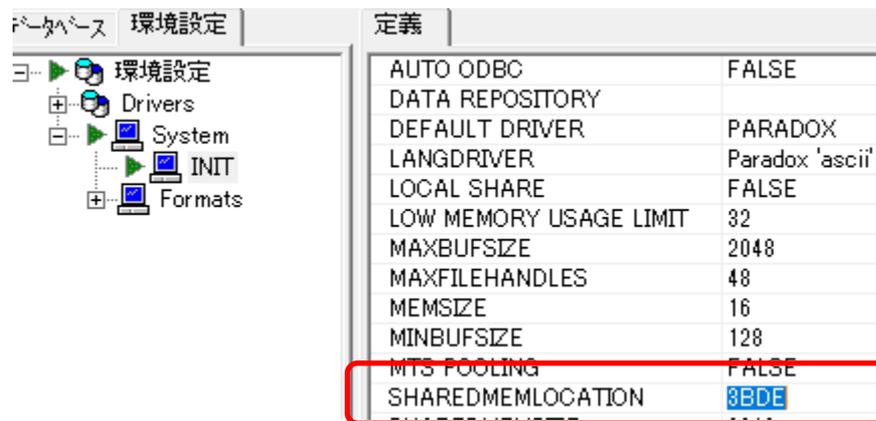
### 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング

#### • BDEで発生することがある接続エラー

【対処方法2】

他ソフトとのメモリ競合の可能性があるので、メモリ位置を調整する。

- ①コントロールパネルからBDE Administratorを起動する。
- ②[環境設定][System][Init]のSHAREDMEMLOCATIONプロパティに1000~7F00の範囲で16進数の4桁を指定して保存・確認する。

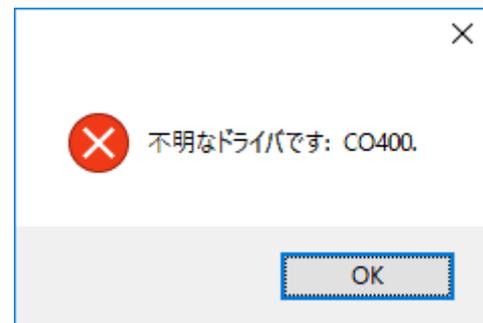


※BDE自体サポートされていないので、確実に解決できる値はありません。

### 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング

- dbExpressで発生することがある接続エラー  
「不明なドライバです」

このエラーはdbExpressのdbxdrivers.iniという設定ファイルが参照できない場合に発生します。環境上にdbxdrivers.iniが読み込めるパスに存在し、読み込み権限があることを確認ください。



存在しなければ、開発環境の下記パスからdbxdrivers.iniをコピーしてC:¥Windows¥system32(64bitはSysWow64)に配置する。

[Delphi/400 XE5以前の場合]

C:¥Users¥Public¥Documents¥RAD Studio¥dbExpress¥バージョン番号

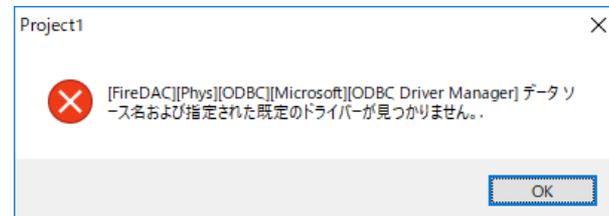
[Delphi/400 XE5以降の場合]

C:¥Users¥Public¥Documents¥Embarcadero¥Studio¥dbExpress¥バージョン番号

### 3.アプリケーション起動時のトラブルシューティング

#### • FireDACで発生することがある接続エラー

「データソースおよび指定された既定のドライバーが見つかりません。」



このエラーはFireDACのFDDrivers.iniというファイルが参照できない場合に発生します。

FDDrivers.iniは運用版のインストールでC:¥co4XX¥firedacに配置されますが、FireDACの仕様で**CURRENT\_USERSレジストリ**によって読み込まれる為、インストールユーザー以外で発生することがあります。

#### 【対処方法1】

実行ユーザーにも、インストールユーザー同等の下記レジストリを追加する。

[HKEY\_CURRENT\_USER¥Software¥Embarcadero¥FireDAC]

このレジストリをエクスポートして、実行ユーザーでインポート

#### 【対処方法2】

TFDManagerを追加し、DriverDefFileNameプロパティでFDDrivers.iniの読み込みを指定する。（レジストリなどの環境に左右されません）

# 補足：アンインストール時のトラブルシューティング



## 【ケース7】

### アンインストールが失敗する

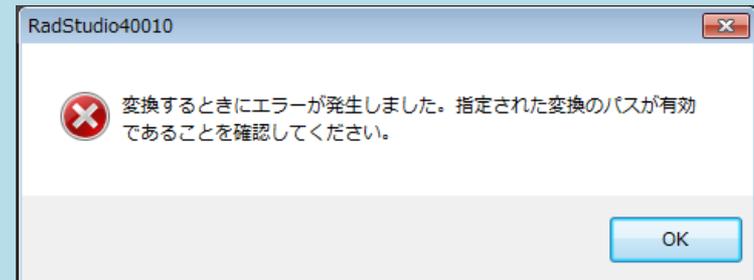
## 【対処方法】



Windows7や10では、アンインストールの際に  
「指定された変換のパスが有効であることを確認してください。」  
というエラーでアンインストールができなくなる場合があります。

これはWindowsインストーラの  
問題である為、Microsoftの  
ツールを使った解決が必要です。

→ 詳細は次ページ以降



# 補足：アンインストール時のトラブルシューティング

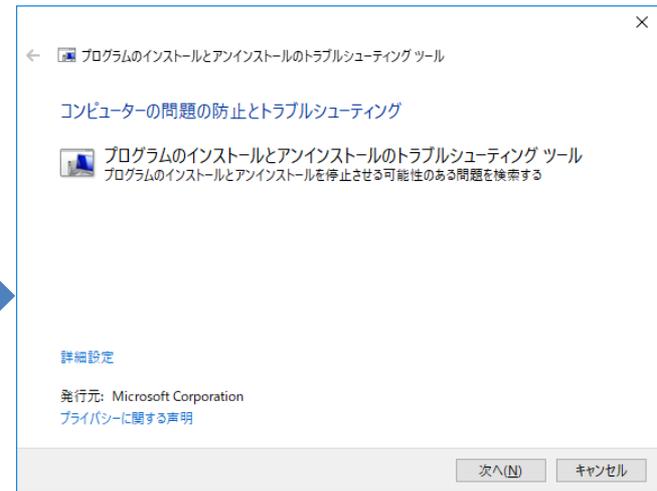
## ・ アンインストールが正常に動作しない場合

「変換のパス」のエラーが出る場合、レジストリや配置ファイルで破損等が発生している可能性があります。

その場合、下記Microsoftのツールでアンインストールが必要です。

＜プログラムのインストールまたは削除をブロックしている問題を解決する＞

[http://support.microsoft.com/mats/Program\\_Install\\_and\\_Uninstall?ln=ja](http://support.microsoft.com/mats/Program_Install_and_Uninstall?ln=ja)



# 補足：アンインストール時のトラブルシューティング

## • 旧バージョンの情報を全て削除する

Delphi/400はアンインストールを行っても、再インストールの為に接続情報などを保持する仕様になっています。その為、手動で旧バージョンのフォルダ等を削除してしまうと参照エラーなどの原因になります。

アンインストール後に全情報をクリアして初期状態に戻す場合は、下記の内容を削除してください。

- ①旧バージョンのインストールフォルダ C:¥Co4XX
- ②Windows設定ファイル C:¥Windows¥win.iniの[CO400]セクション
- ③HKEY\_LOCAL\_MACHINEレジストリ  
(32bitPCの場合)  
¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥SystemObjects  
(64bitPCの場合)  
¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥SystemObjects

## 4.まとめ



## 4.まとめ

- インストールエラーはエラーメッセージで対処方法が異なる。ケースによってはPCメーカーへ問い合わせが必要。
- 接続のエラーは、ライセンスや通信が原因となることが多い。
- アプリケーション起動時のエラーは、プログラムの仕組みと使用するデータベースエンジンが原因となることが多い。
- 本セッションのケースにあてはまらないエラーについては、メッセージ内容や状況詳細をサポートへご連絡ください。

